

みんなのイマをバンヤ!!

「街フォトスクラップ」



訪問

悔

しさを乗り越え
全国制覇

10月26日、鹿屋中央高校レスリング部の坂野秀亮さんが市役所を訪問しました。坂野さんは、10月に愛媛県で開催された第72回国民体育大会(2017愛顔つなぐえひめ国体)のレスリング少年男子フリースタイル74kg級で優勝。「インターハイで優勝を逃した悔しさをばねに、国体では結果を出せた。大学でもさらに上を目指す」と話しました。



スポーツ

伝

統のバレー
大会で熱戦

10月28日、輝北体育館などで「第58回大隅地区中学女子新人バレーボール大会」が開催されました。これは昭和35年から始まった伝統の大会で、今年は23校が参加。選手たちは日頃の練習と成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。
優勝=鹿屋東中学校 準優勝=第一鹿屋中学校
3位=輝北中学校、内之浦・大始良中学校合同チーム



イベント

世

紀を越えて
長寿を祝う

10月29日、吾平振興会館で「第108回美里あいら敬老会」が開催されました。この敬老会は明治42年から開催され、県内最古の歴史を持つイベント。この日は、吾平町下名の徳留ユリさん(101歳)ら100歳以上の長寿賞や、親子長寿賞などの受賞者を表彰。また、地元小・中学生の作文朗読やアトラクションなどが行われ、参加者全員で長寿を祝いました。



訪問

二

刀流で優勝を
勝ち取る

10月31日、中学生少年硬式野球チーム「鹿屋ビッグベアーズ」の山本聖選手が市役所を訪問しました。山本選手は九州・沖縄地区選抜チーム「九州・沖縄ヤング選抜」の投手・野手として、8月の「第10回倉敷国際少年野球大会」に参加。決勝戦で先発投手として出場し、優勝の成績を収めました。優勝盾を携えた山本選手は、「将来はプロを目指す」と力強く話しました。



スポーツ

世

界レベルの
走りを学ぶ

10月29日、鹿屋体育大学で「トップレベル選手による陸上教室」が行われました。講師は同大学卒業生で、様々な大会で実績を残し、世界陸上競技選手権大会10,000m走の日本代表経験もある永田宏一郎氏。この日は、2020年の「かごしま国体」を目指す小・中学生32人が参加し、長距離を走るための正しいフォームやトレーニング方法を学びました。



イベント

障

がい者のア
ト力を発掘

10月23日から29日まで、市役所市民ホールで「第3回鹿屋市障がい者絵画作品コンクールAct展」が開催されました。これは、障がい者の絵画作品の可能性と評価を高めることを目的に行われたもので、今年は97点の作品を展示。初日にはオープニングセレモニーと優秀賞受賞者への表彰式が行われ、来場者からは盛大な拍手が贈られました。



イベント

福

社を体験しながら
楽しむ1日



10月21日、リナシティかのやで「2017鹿屋市ふれあい福祉まつり」が開催されました。当日は、保健・福祉・医療分野の功績者表彰や各種体験イベントが行われました。ボランティア体験コーナーでは手話・要約筆記・音訳・点訳体験やボランティア相談・登録コーナー、チャリティバザーなどが設けられ、福祉を体験しながら楽しむ1日になりました。



議会

市

民の皆さんに
議会報告

10月26日・27日の2日間、市内4か所の会場で議会報告会が開催されました。これは市議会への理解を深めてもらうために、議員自ら議会の概要や活動等を直接市民に報告するもの。各会場では、定例会等の審議内容及び結果、委員会活動等の報告や参加者との意見交換が行われ、市議会の取り組みなどについて活発な意見が出されました。



式典

50

年の歩みを
共に祝う

10月25日、市内のホテルで「平成29年度鹿屋市合同金婚式」が開催されました。この日は、結婚50年を迎えた65組の夫婦が参加。50年前の街並みや出来事、当時の流行歌などを交えた映像とともに、50年の歩みを振り返りました。また、星幼稚園の園児によるお祝いの言葉やお遊戯・合唱などが披露され、出席者は拍手と笑顔で喜びを表していました。



イベント

茶

業の健全な発展
と振興を願って

10月29日、リナシティかのやで、「平成29年度鹿児島県茶業振興大会・かごしまお茶まつり肝属大会」が開催されました。これは茶の消費拡大、茶業発展を願って行われているもの。この日は、県茶業功労者や県茶品評会受賞者の表彰などが行われたほか、鹿屋女子高校生がおもてなしをする「百円茶屋」と題したイベントも行われました。



イベント

文

化・芸術の秋
を満喫

10月28日・29日の2日間、市文化会館と市中央公民館で、「第48回鹿屋市文化祭」が開催されました。各団体による舞台発表や、九州各地にゆかりのある民謡等を、詩吟と日本舞踊や太鼓・尺八・琴等と共演して披露するステージがあったほか、華道や絵画、書道、小中学生作品等約900点の展示があり、来場者は、文化・芸術の秋を満喫していました。